

好評のうちに終了いたしました。ご参加ありがとうございました。

好腎好日 & 血管炎セミナー開催のご案内

血管炎の臨床病態の中で、診断が難しい末梢神経障害と腎障害を取り上げ Web セミナーを開催します。

ANCA 関連血管炎での末梢神経障害の発症頻度は異なりますが、すべての血管炎で認められる臨床徴候です。好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA) で最も高頻度で 80% 程度にみられます。顕微鏡的多発血管炎 (MPA) でも 60% に出現し、多発血管炎性肉芽腫症 (GPA) でも 30~50% に出現するといわれています。末梢神経障害の診断には専門的な知識が必要になり、最前線の臨床現場で診療に当たる医師からは診断が難しいとの声が聞かれます。生命予後に直結する臓器障害ではないので重要視されない先生方も時折みかけますが、運動障害・感覚障害は患者の ADL を大きく阻害し、重篤な末梢神経障害は患者を廃人同様の状況に追い込んでしまうこともあります。早期発見と迅速な治療開始により患者の機能予後は大きく改善します。血管炎の神経徴候を長年研究されてきた神田隆先生に解り易く特別講演頂きます。

一方、血管炎の腎障害は MPA で高率に起こり、発見が遅れると急速進行性糸球体腎炎 (RPGN) から末期腎不全に至ります。RPGN の病態を示す腎組織像は半月体形成性腎炎です。このような組織病変の成り立ち、様々な程度の半月体形成と臨床病態とのかかわりを病理の立場から 2 人の病理医にお話しいただきます。そして、現行行われている血管炎、特に腎障害に対する治療も話してもらいます。また、「劇症好中球と血管障害」について、鈴木和男先生に血管炎の基礎的なアプローチからお話を伺いたいと思います。

一般社団法人 腎臓血管加齢医療研究機構

- 日時：令和 5 年 1 月 21 日（土曜日）15:00~17:30
- 形式：Web 開催 (Zoom)
- 定員：100 名
- 参加費：2,000 円（機構会員の方は無料）

(次ページに続きます)

●プログラム

- 15 : 00～15 : 45 特別講演「血管炎による末梢神経障害の診断」
山口大学医学部神経・筋難病治療学講座 教授 神田隆
司会：東北医科薬科大学腎臓内分泌内科 臨床教授 湯村和子
- 15 : 45～16 : 00 ミニレクチャー 「劇症好中球と血管障害」
千葉大学
災害治療学研究所 客員教授 鈴木和男
同 医学部附属病院検査部 副技師長 村田正太
- 16 : 00～17 : 30 ワークショップ 「血管炎の腎障害」
司会：昭和大学医学部解剖学講座顕微解剖学部門 教授 本田一穂
- 16 : 00～16 : 10 ワークショップ 血管炎の腎障害
1) RPGN
東北医科薬科大学腎臓内分泌内科 臨床教授 湯村和子
- 16 : 10～16 : 30 2) ANCA 関連血管炎における半月体の形成機序および腎内小動脈炎の
病理学的意味
東京女子医科大学病理診断科 准教授 種田積子
- 16 : 30～17 : 00 3) AAV の腎病変（基礎から非典型例まで）
北海道腎病理センター センター長 小川弥生
- 17 : 00～17 : 30 4) AAV の治療の現状
東京都健康長寿医療センター腎臓内科・血液透析科部長 板橋美津世

●セミナーお問い合わせ先

一般社団法人 腎臓血管加齢医療研究機構

【講演会事務局】株式会社メディカル東友 コンベンション事業部

TEL : 046-220-1705 FAX : 046-220-1706

E-mail : office@rokiva.jp